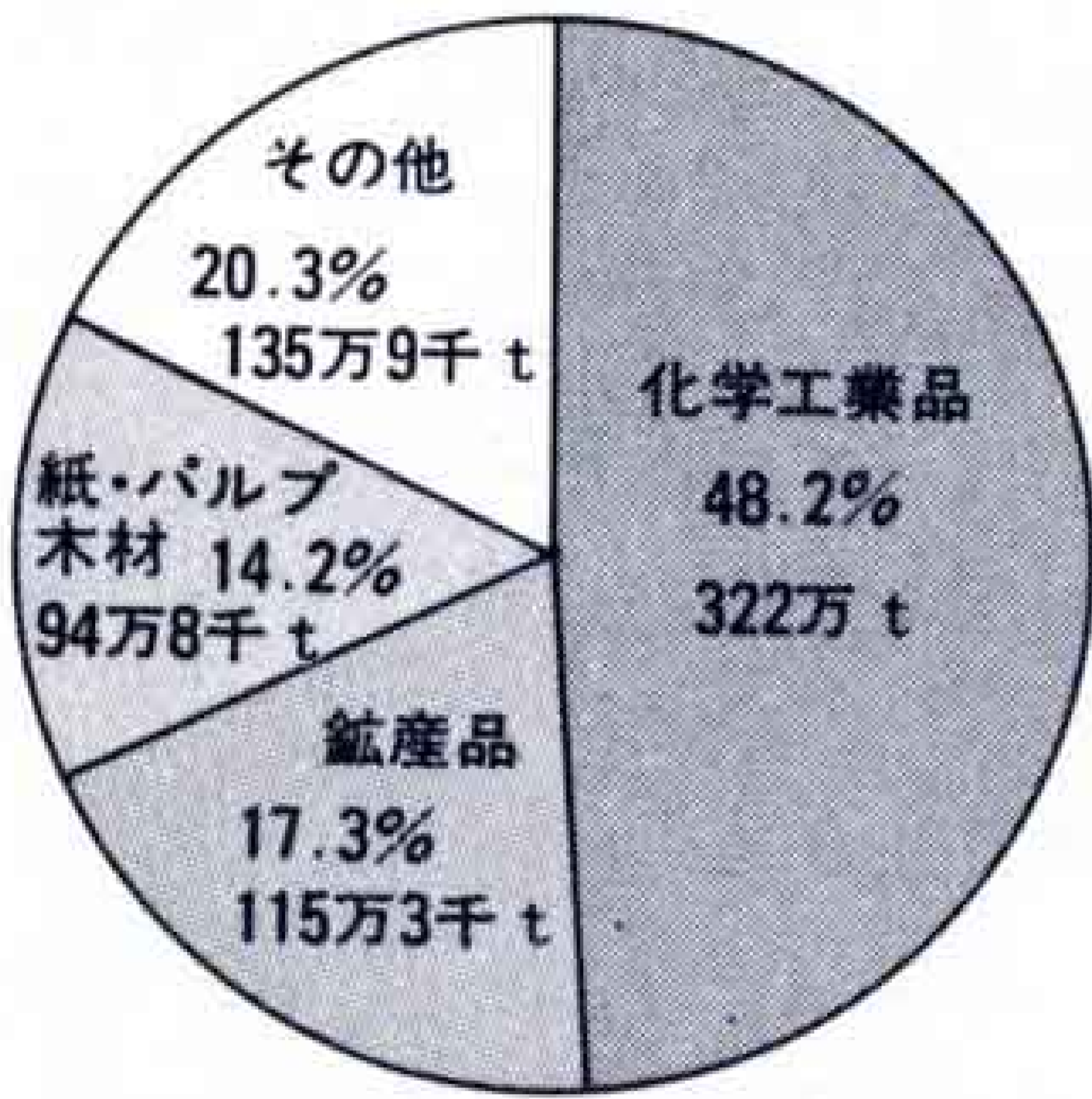


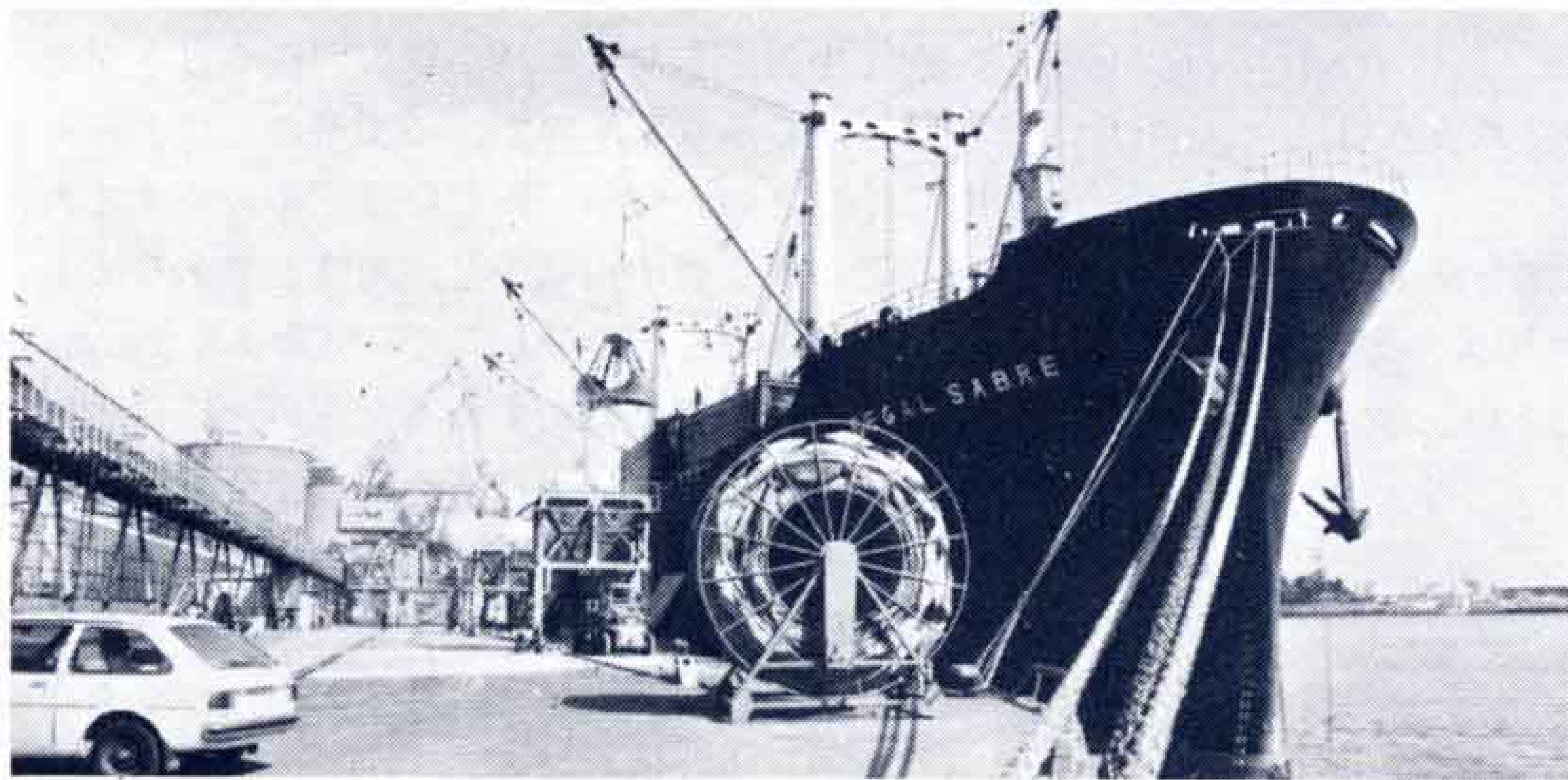
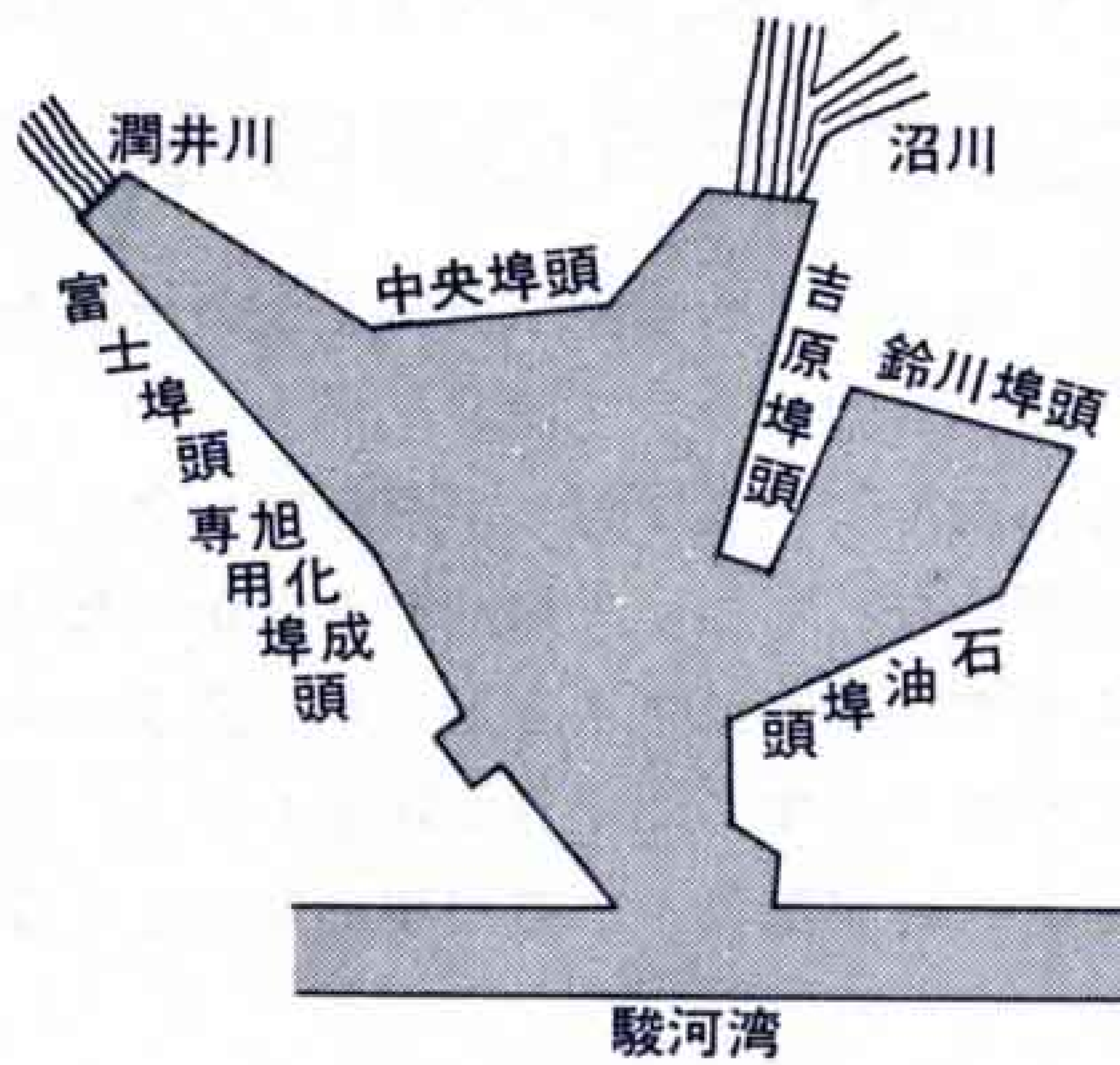
じせつめぐり



田子浦港



取扱品目割合



田子浦港は、潤井川と沼川の合流地点を陸の方に掘って建設された、「堀込式人工港湾」で昭和33年から10年余りをかけて完成しました。

昭和55年に入港した船舶は、7,595隻で取扱品はグラフのとおりです。

田子浦港が有名になったヘドロについては、昭和46年から処理をはじ

め、いまではすっかりきれいになりました。

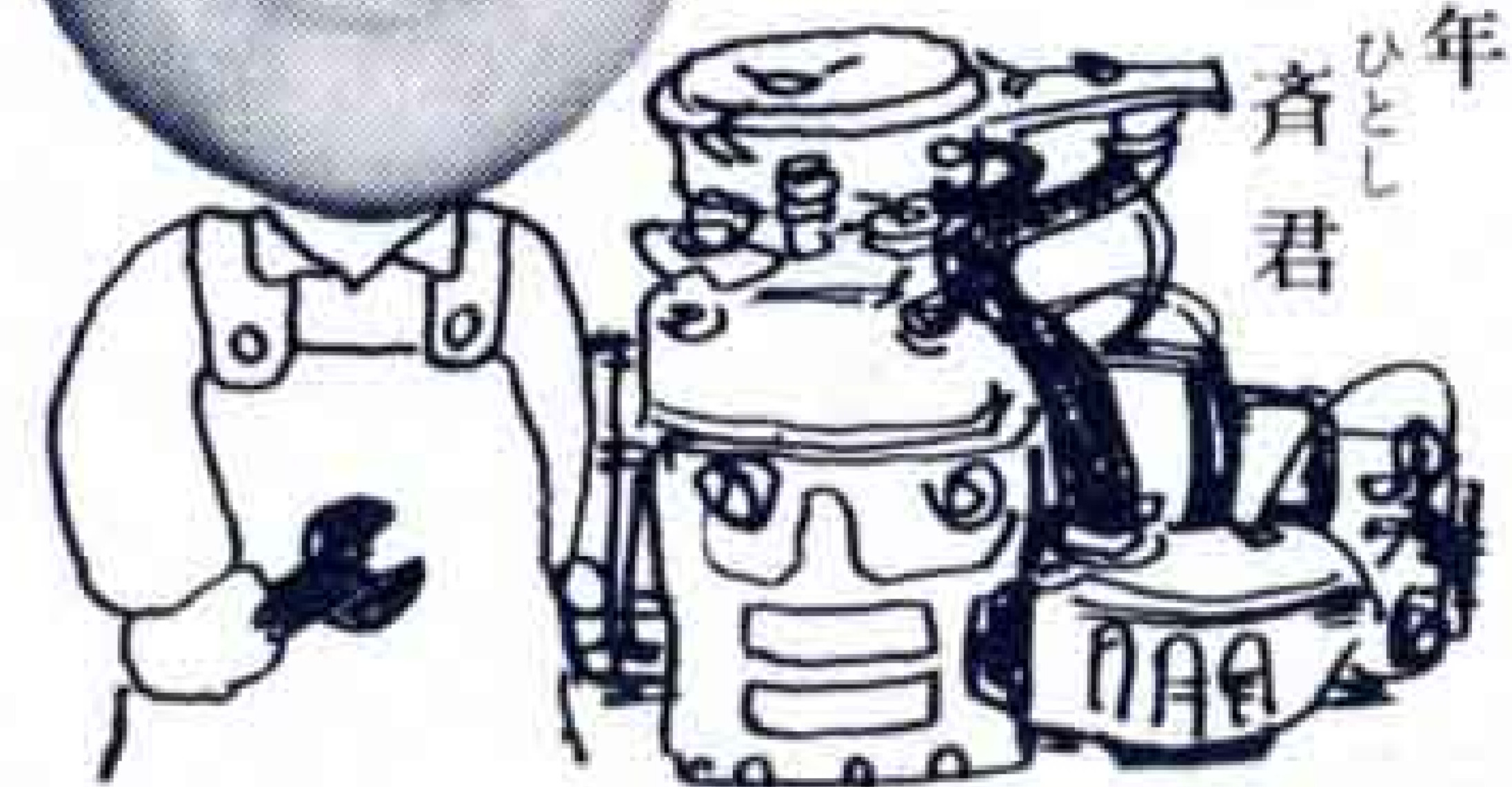
しかし、問題がすべて解決したわけではありません。それは富士山の大沢崩による土砂が、潤井川を流れ港に堆積してしまうことです。相手が自然だけにこれからの大きな問題です。

ぼくの夢 わたしの夢

エンジニアになりたい



伝法小 山内 六年 斉君



ぼくの夢は機械を造ったりなおしたりするエンジニアになることです。

それは、こわれた時計を分解したり、ラジオを組み立てなおしたりして機械をいじるのが好きだからです。

ただのエンジニアではなく、反発する力で衝突しないようにした車やチューブの中を走って墜落しないようにした飛行機など安全な機械を造るエンジニアになりたいと思います。

保母さんになりたい



伝法小 小山 六年 有美さん



私の夢は、保母さんになることです。小さい子どもや動物と遊んだりしてめんどうをみてやるのが大好きだからです。保母さんになるだけではなく、自分で、幼稚園を作りたいとも思います。その幼稚園には、動物をたくさんかって、子どもたちに、楽しい幼稚園……と喜んでもらえるようにしたいと思う。すごくやさしい先生になりたいです。

ごみのおはなし



今までのごみ処理は「何でもいから出してください」「出されたものはいくらでも処理します」というやり方でした。これでは、ごみはますますふえる一方で早晚行詰りをきたします。

したがって、これからはごみを可能な限り再資源化して活用することが、ごみ問題の解決に大きく役立ちます。びん、かん、金属類の分別収集は、そのための一つの方法です。

—— 進めよう ごみの減量・資源化 ——